

概 況

平成24年1～3月期の出荷数量は、前年同期に比べ、土木向け、建築向け共に増加し、13,667.1千^m、前年同期比7.3%の増加となった。

1. 需要先別の動向

土木向けは5,843.4千^m、前年同期比3.1%と18年の1～3月期以来、6年ぶりの増加となった。このうち鉄道・電力向けのみが492.9千^m、同2.4%減少したが、港湾・空港向けは492.2千^m、同9.3%、道路向けは1,622.5千^m、同2.0%、その他向けは3,235.8千^m、同3.6%の増加となった。

建築向けは7,823.7千^m、同10.7%と6期連続の増加となった。このうち官公需向けは1,258.5千^m、同7.2%、住宅向けは3,695.6千^m、同6.0%、非住宅向けは2,869.6千^m、同19.2%といずれも増加となった。

2. 地域別の動向

経済産業局(沖縄は内閣府沖縄総合事務局)別にみると、北海道は391.1千^m、前年同期比8.2%の増加となった。このうち土木向けは233.2千^m、同1.8%の減少となったが、建築向けは157.9千^m、同27.3%と6期連続増加した。内訳をみると、港湾・空港向け(同27.4%)、道路向け(同5.8%)、その他向け(同11.8%)が減少したものの、新幹線関連の需要増で鉄道・電力向け(同128.7%)が大幅な増加、官公需向け(同44.2%)、住宅向け(同20.4%)、非住宅向け(同24.5%)が増加した。

東北は1,208.5千^m、前年同期比52.6%と震災の復興需要と前年の反動増から大幅な増加となった。このうち土木向けは683.9千^m、同51.7%、建築向け524.6千^m、同53.8%と共に3期連続の増加となった。港湾・空港向け(同188.3%)、非住宅向け(同74.0%)、その他向け(同47.5%)、住宅向け(同41.7%)などが大幅に増加し、官公需向け(同35.8%)、道路向け(同13.2%)などすべてで増加した。

関東は5,074.6千^m、同7.0%と6期連続増加した。このうち土木向けは1,598.4千^m、同2.5%と18年の1～3月期以来6年ぶりに増加し、建築向けは3,476.2千^m、同9.2%と6期連続増加した。港湾・空港向け(同14.3%)、道路向け(同9.8%)は減少し、鉄道・電力向け(同13.8%)、非住宅向け(同15.4%)、その他向け(同7.7%)、住宅向け(同7.2%)、官公需向け(同1.9%)などが増加した。

中部は1,426.1千^m、同5.8%と前期に引き続き北陸新幹線の工事終了の影響で減少となった。このうち土木向けは691.6千^m、同11.4%と5期連続の減少、建築向けは734.5千^m、同0.2%の増加となった。道路向け(同6.4%)、非住宅向け(同7.6%)が増加し、鉄道・電力向け(同40.4%)が大幅に減少し、港湾・空港向け(同7.2%)、その他向け(同9.2%)、官公需向け(同4.1%)、住宅向け(同5.4%)などが軒並み減少した。

近畿は1,620.0千^m、同9.4%と4期連続増加となった。このうち土木向けは711.4千^m、同5.6%の増加、建築向けは908.5千^m、同12.6%と共に増加となった。鉄道・電力向け(同41.1%)、港湾・空港向け(同6.9%)、住宅向け(同4.4%)などが減少したものの、非住宅向け(同28.5%)が大幅に増加し、道路向け(同10.2%)、その他向け(同10.2%)、官公需向け(同18.9%)なども増加した。

中国は993.6千^m、同2.4%と4期ぶりの減少となった。このうち土木向けは518.9千^m、同6.3%と8期連続の減少、建築向けは474.7千^m、同2.2%と7期連続の増加となった。非住宅向け(同12.3%)、道路向け(同2.4%)、官公需向け(同2.1%)が増加したが、港湾・空港向け(同18.9%)、鉄道・電力向け(同16.2%)、その他向け(同8.8%)、住宅向け(同6.3%)が減少した。

四国は787.1千^m、同7.5%と6年ぶりに増加となった。このうち土木向けは449.1千^m、同9.3%と9期ぶりの増加、建築向けは338.0千^m、同5.1%と6期連続増加した。鉄道・電力向け(同31.2%)、官公需向け(同3.8%)が減少し、道路向け(同15.1%)、非住宅向け(同11.1%)、その他向け(同8.7%)、住宅向け(同5.2%)、港湾・空港向け(同1.2%)が増加した。

九州は1,792.3千^m、同3.4%の増加となった。このうち土木向けは867.1千^m、同5.1%の減少、建築向けは925.2千^m、同12.9%の増加となった。港湾・空港向け(同9.7%)、道路向け(同3.7%)、その他向け(同7.8%)が減少したものの、鉄道・電力向け(同67.8%)が新幹線工事で大幅に増加した。非住宅向け(同19.0%)、住宅向け(同12.2%)、官公需向け(同7.2%)も増加した。

沖縄は373.7千^m、同2.9%の増加となった。このうち土木向けは89.6千^m、同0.9%、建築向けは284.1千^m、同3.6%とともに増加した。鉄道・電力向け(同88.2%)が大幅に減少し、非住宅向け(同16.2%)、港湾・空港向け(同9.1%)が減少したものの、道路向け(同42.9%)が大幅に増加し、住宅向け(同8.7%)、その他向け(同2.7%)、官公需向け(同1.2%)が増加した。

3. 月別の動向

月別に出荷動向をみると、1月が4,019.6千^m、前年同月比4.5%の増加、2月が4,739.4千^m、同5.2%の増加、3月が4,908.1千^m、同12.0%の増加と、3月が前年の反動増で大幅な増加となった。

このうち土木向けは、1月が1,746.3千^m、同0.8%の増加、2月が2,116.7千^m、同1.2%の増加、3月が1,980.4千^m、同7.3%と大幅な増加となった。

建築向けは、1月は2,273.3千^m、同7.4%、2月は2,622.6千^m、同8.7%、3月も2,927.8千^m、同15.4%の増加となった。

4. 設備能力及び従業員数

3月末の全国のプラントの基数は1,834基で、前期末(23年12月末)より3基の減少、前年同期末(23年3月末)より53基減少した。月間生産能力は48,179千^m、前年同期比2.9%の減少となった。

3月末の従業者数は、21,685人、前年同期末より832人(3.7%)減少となった。